

# 桂川園ってどんなところ？

No.2

地域の福祉拠点として、利用者さんの生活の場として様々な企画・取組を展開しています。

## キッズボランティアとの交流

川岡東小学校の4年～6年生の児童たちは夏休み、冬休みなどの期間に利用者さんのお手伝いを通して交流を図っています。

洗濯物をたたんだり利用者さんと一緒にレクリエーションを楽しんだり元気に活動するキッズたち。利用者さんが折り紙の折り方や卓球パレーのルールを教えている光景も見られます。

今後もこの活動を通じてお互いに支えあって生きる大切さを学んで欲しいと思います。



## 年末恒例・忘年会特別メニュー！

各事業所で企画される行事に合わせて、管理栄養士が創意工夫をこらした食事を提供しています。今回はその一部をご紹介します。

### ● 老人デイサービス

いつもよりちょっと豪華な松華堂弁当をご用意。皆さん美味しく楽しく召し上がられています。



**献立内容** 散らし寿司、金目鯛の煮付け、さつまいもの煮物、フルーツ2種盛（いちご、パイナップル）、茶碗蒸し

### ● 障害者デイサービス

利用者さんから食べたい味や具材を聞き取って、日替わり鍋を実施。一年を振り返りながら鍋に舌つづみ！



**献立内容** 肉団子、ウィンナー、鱈、白菜、白ネギ、にんじん、シメジ、水菜、豆腐

利用者さんもいつも楽しみにしているデイサービスの年末行事食です。これからも四季折々に合わせて利用者さんに旬の食材を美味しく安全に提供していくことに努めてまいります。

## 『たまかふえ』



「たまたま買物に、散歩で近くまで来て、たまたまお喋りがしたくて」と気軽な気持ちで立ち寄っていただける“カフェ”を開催しています。

小さなお子様をお連れのお母さまも来てもらっています。どなたでも参加いただけます。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

**開催日** 毎月 第3火曜日 午後1時30分

**場 所** 「桂川園」1階 玄関ホール

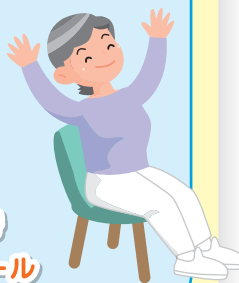
## ラジオ体操

近頃は運動不足とおられる方、昔を思い起こして、ラジオ体操を再開しませんか。

椅子に座ってできるラジオ体操です。どなたでも参加いただけます。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

**開催日** 毎週 木曜日 午前10時

**場 所** 「桂川園」1階 玄関ホール



## 編集後記

2016年は皆様にとってどのような1年でしたでしょうか。桂川園では、4月に野口法人会長が就任されあらたなスタートをきりました。昨年も多くのうれしい、たのしい出来事がありその一部をご紹介させて頂きました。毎年、利用者さんや地域の方々と一緒に活動がで職員一同感謝しております。今年も皆様に大好きと思って頂ける桂川園になれるよう日々精進していきますので、今年も宜しくお願いいたします。（総務部 上野）

個人情報の保護に伴い写真を使用する方には同意をとっております。



社会福祉法人 京都社会事業財団

総合福祉施設 京都桂川園

〒615-8033 京都市西京区下津林東大般若町32  
TEL (075) 391-1675(代) FAX (075) 391-1640  
E-mail: info@katsuragawaen.com

<http://www.katsuragawaen.com/>

- 京都市桂川特別養護老人ホーム
- 京都市桂川老人デイサービスセンター
- 京都市桂川地域包括支援センター
- 認知症デイサービスセンター 玉頭の家
- 京都桂川園 久世障害デイサービスセンター・ショートステイ
- 京都市桂川療養園
- 京都市桂川障害者デイサービスセンター
- 桂川居宅介護支援事業所

桂川園のしあわせたより

# にじ色の風

vol.  
23

2017年1月10日

発行 / 京都桂川園  
編集 / 広報委員会  
印刷 / 南アクト

にじの彼方には 幸せがあり 桂川園の幸せたよりを運ぶ風

## 法人会長より新年のご挨拶



社会福祉法人  
京都社会事業財団 会長

野口 雅滋

皆さん、新年明けましておめでとうございます。恙なく新年をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。

昨年の4月1日付で京都桂川園を運営する社会福祉法人京都社会事業財団の会長に就任しました、野口です。本年も宜しくお願い申し上げます。

京都社会事業財団は多種多様な事業を行っている施設の共同体です。医療を提供している施設としては京都桂病院、西陣病院、にしがも透析クリニックがあります。児童福祉には北野・二条・昭和の三保育園の他に、児童養護施設のつばさ園、児童心理治療施設のももの木学園、それに松陽児童館があります。高齢福祉の施設も京都桂川園をはじめとして、京都厚生園、にしがも舟山庵、ライフ・イン京都の四施設があり、京都桂川園では障害者支援施設も運営していることは、皆さんよくご存じの通りです。

このように多様な事業を、多くの施設で行っていますが、歴史的な経緯もあって、それぞれの施設が個別に運営され、連携が希薄でした。法人全体としては、2,000名を超える職員が働く大きな社会福祉法人なのに、一つの法人として社会福祉事業を行っているという統一感が欠けていました。

現在、法人内の連携を強める取り組みがいろいろ実施に移されています。高齢福祉に関しては、ここ数年高齢四施設長会議が2か月に一回開催されています。施設長が一堂に会して、その時々の問題点について話し合い、対応が施設ごとにバラバラにならないよう調整しています。今年に入ってから、高齢四施設事務長会も開催されるようになり、四施設の事務長も共同で一つの問題に取り組む体制が徐々に整ってきました。

同じような施設長の会が児童福祉でも定期的開催され、その会に保育の現場を代表して、主任の人たちも参加するようになってきています。児童福祉でも、高齢福祉の様に、その時々の問題に統一感を持って対応するようになってきています。

このような検討を通して、まず人材確保に取り組むことになりました。子育て中の人も安心して働くことができる環境を提供するために、法人内保育所を設置することにしています。まだ最終決定には至りませんが、すでに次年度中の開園を目指して動き出しています。人材育成についても検討が進んでいます。法人内で、初任者研修と実務者研修を受講することができる体制づくりに向けて、施設長会・事務長会が合同で取り組んでいます。

各施設単独では取り組むことが困難だった課題にも、法人として取り組むことで、いろいろ実現可能になって来ています。大きな社会福祉法人内の施設であるというメリットを感じてもらえるような取り組みを、今後とも発信していきたいと考えています。

今年も一年、宜しくお願い申し上げます。





